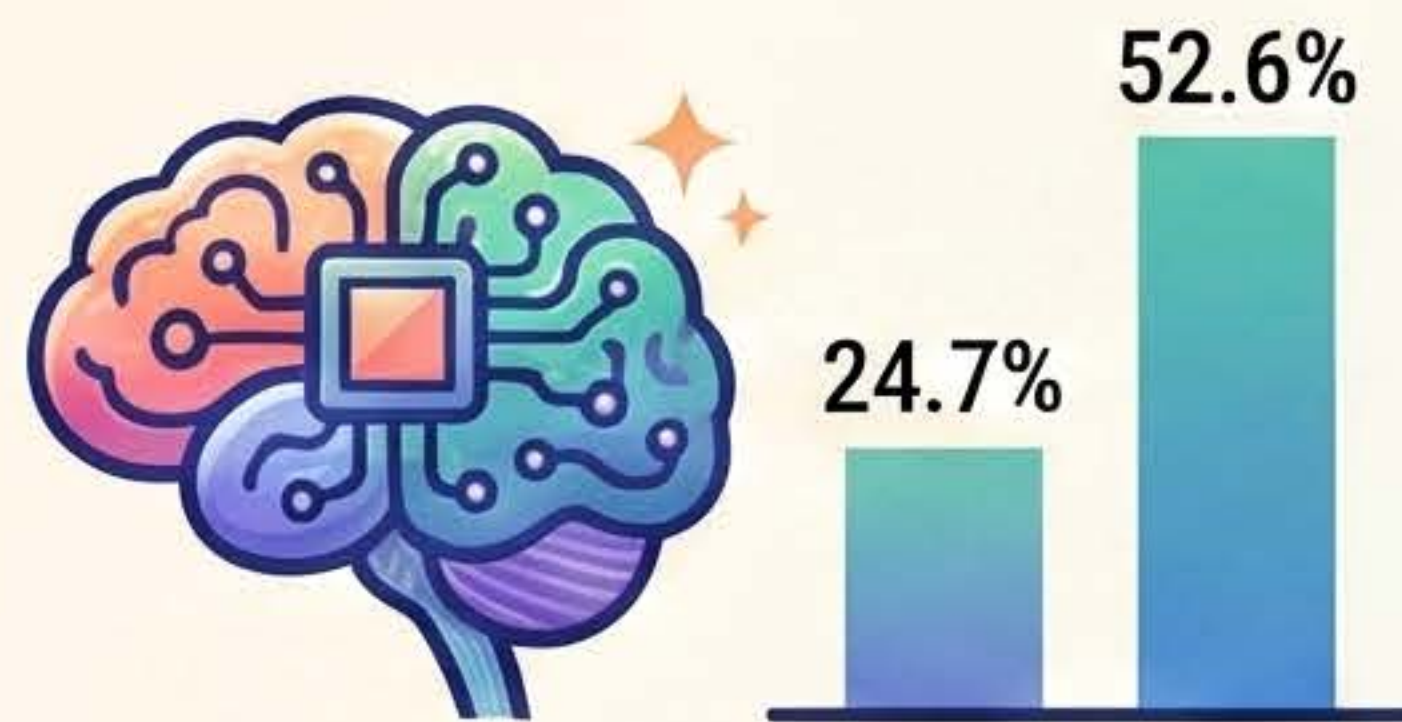


Claude Fable 5.1 / Mythos 5.1：エージェント能力と運用効率の革新的進化

2026年9月に発表されたClaude 5.1シリーズは、単なる小規模アップデートに留まらず、科学・コーディング領域のエージェント能力を劇的に向上させました。キャッシュ価格の75%引き下げにより、高度な自律型タスクの低コスト運用を可能にしています。

性能向上とコスト効率の劇的な改善



科学的・技術的タスクで最大113%の改善

Terminal-Bench-Science等で大幅なスコア向上を記録し、エージェント能力が飛躍。

(Terminal-Bench-Science 24.7% → 52.6%)



キャッシュ読込単価を75%削減

\$1.00 / MTok → \$0.25 / MTok

反復的なエージェント作業のコストを大幅抑制。



旧Fable 5 Max



Fable 5.1
(適切なeffort設定)

旧最上位モデル同等の知能を54%低コストで実現

安全性と企業導入のための新設計



Fable

(一般提供)

利便性と専門的な安全性を両立。



Mythos

(審査制)

セーフガード誤検知 基準値 → 60%~85% 減少



Enterprise Frontier Safeguards (EFS)

顧客独自のクラウド環境でのログ保持と、高いプライバシー保護を両立。



既存APIからの移行に伴う「破壊的変更」

- ツール強制使用の廃止や履歴編集の制限など、システム改修が必要な変更注意到意。